

整理番号	M J - 1 2 0 5 A
作成	' 83. 02. 07.

設 定 器

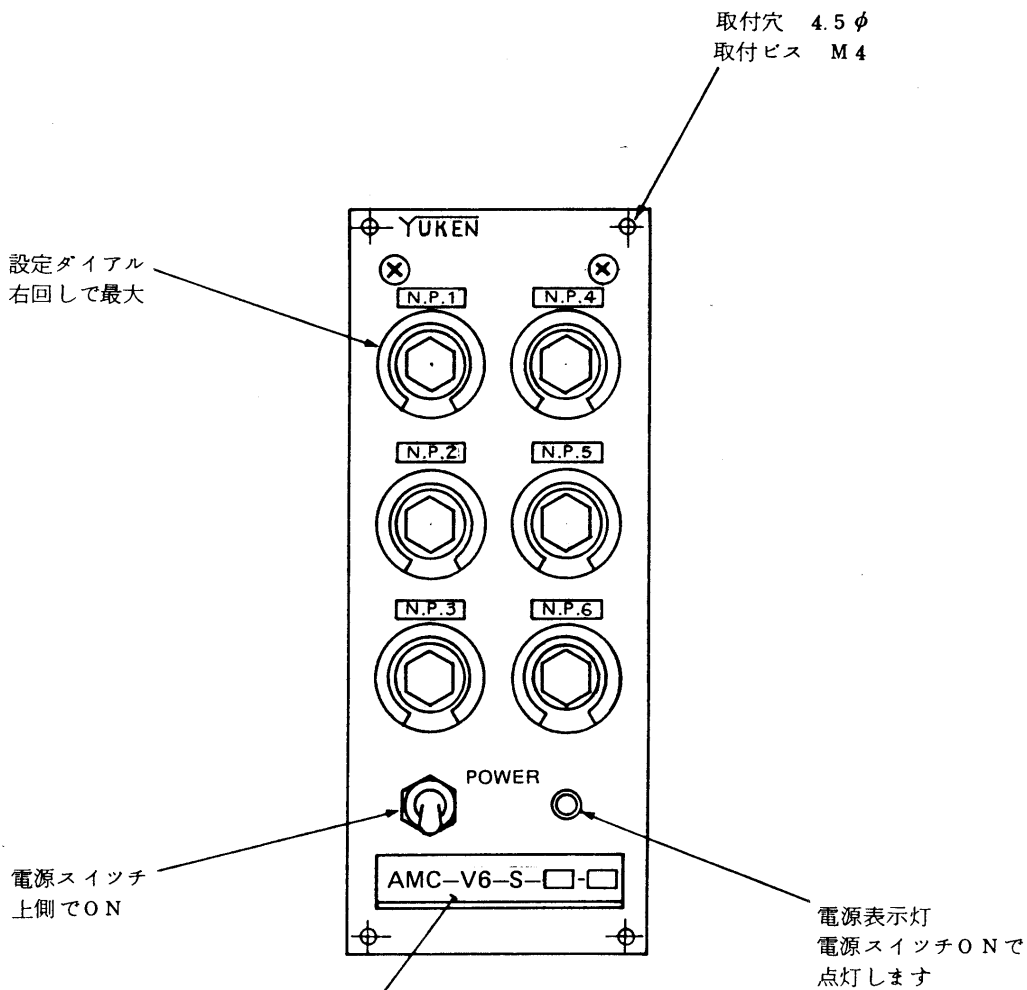
取 扱 説 明 書

AMC - V 6 - S - ※ - 1 0 ※ ※

油 研 工 業 株 式 会 社

本設定器は比例電磁式制御弁用パワー増幅器と組み合わせて御使用下さい。

1. パネル



銘板 (モデル番号、製番)

モデル番号

AMC-V6-S-※-10※※

電源電圧

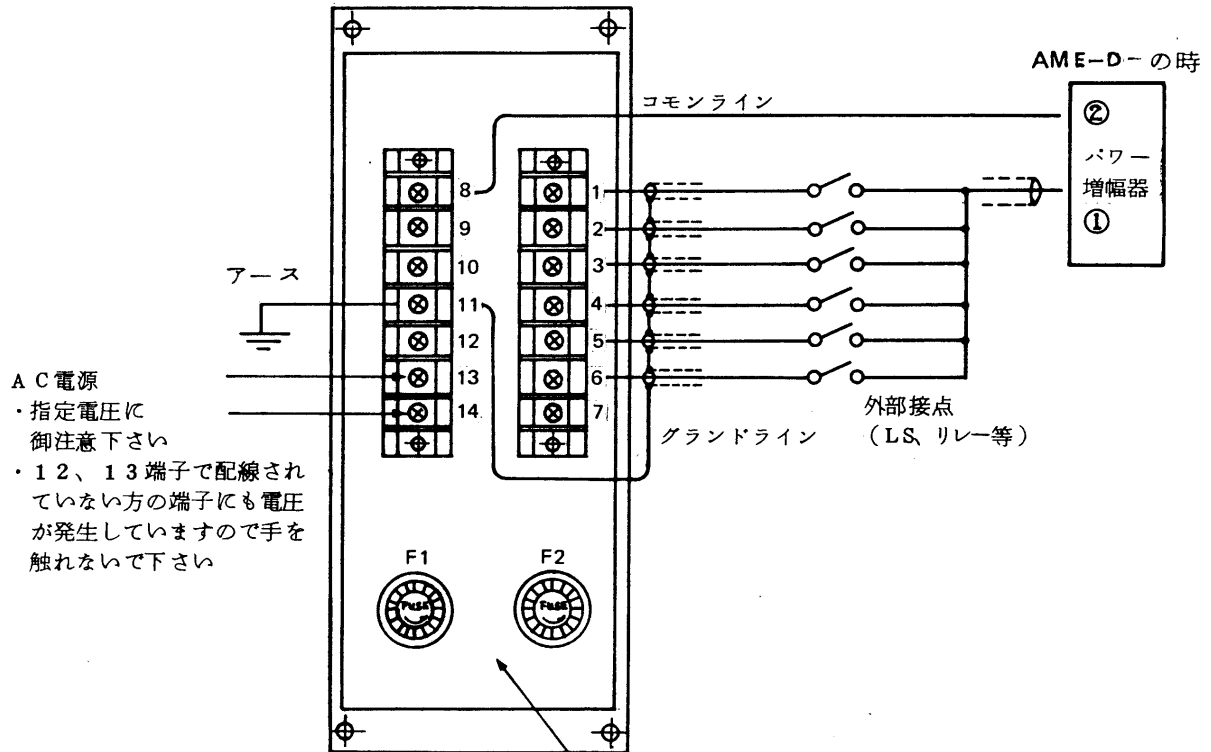
100 : AC 100 V

200 : AC 200 V

220 : AC 220 V

MJ-1205A

2. 結線について



(注) 信号線のシールドはグラウンド端子(11番)に接続して下さい。

ただパワー増幅器側にもグラウンド端子がありますが、両方接続せずどちらか一方だけにして下さい。

フューズ(ガラス管普通フューズ)

F1: 電源側フューズ

AC100V : 1A

AC200/220V : 0.5A

F2: 出力側フューズ : 0.5A

3. 設定手順

3.1 準備

- (1) 設定器裏面への配線が正しく接続されていること。
- (2) AC電源電圧は設定器銘板のモデル番号に打刻されている電源電圧と一致していること。
- (3) 外部接点(LS、リレ)はいずれもOFF(開状態)であること。
- (4) 各設定ダイヤルは左回し(反時計方向)にまわし最小位置としておく。

3.2 設定

上記ののち設定器の電源スイッチを投入します。

このとき電源スイッチとなりの赤色表示灯が点灯して設定器は作動状態となります。

- (1) 各設定は前面パネルの設定ダイヤルで行なつて下さい。
- (2) 出力を順次変化させるには外部接点で行ないます。この時絶対に各接点を同時にON(閉状態)させないで下さい。

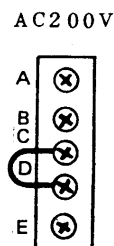
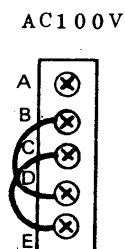
4. その他

4.1 電源電圧の変更

モデル番号で指定されたAC電源電圧を変更したいときにはつぎの手順で行なつて下さい。

設定器の底カバー(4本のM3ビス)を外します。

裏面に5Pの小形端子台があり、端子台にジャンパー線が接がれています。



フューズ

F 1	AC100V	1A
	AC200V	0.5A
	220V	
F 2		0.5A

上図のように組替えて下さい。このときフューズ(F1)も変更する必要があります。ジャンパー線は必ず圧着端子をご使用下さい。

本項の電源電圧の変更は内部をあけて作業することになるので他の部分の配線や回路

MJ-1205A

素子に充分ご注意下さい。

4.2 注 意 事 項

- (1) 通電したままプリント板の抜き差しは行なわないで下さい。
- (2) ライン電源の電圧変動は使用電圧の±10%まで許容されますが、ACライン電源に異常に大きなサージ電圧が入りますと誤動作する恐れがあります。このような場合にはノイズフィルターを電源供給側に挿入して下さい。
- (3) 設定器は半導体ICなどで構成されておりますので、高温、多湿を避けて通風の良い場所に設置して下さい。

MJ-1205A